平成30年度第29回関東高等学校バスケットボール新人大会　*ALL Kanto Rookies 2018 in Chiba*　10M3

(女)決勝

試 合 日： 2019/02/10
開始時刻： 12:30~
会　　場： 大網白里アリーナ
コ ー ト： Mコート
試 合 順： 第3試合(女)決勝

Team A				Team B
埼玉栄	58	8 — 13 11 — 25 22 — 15 17 — 18 —	71	アレセ
(埼玉県)				(神奈川県)

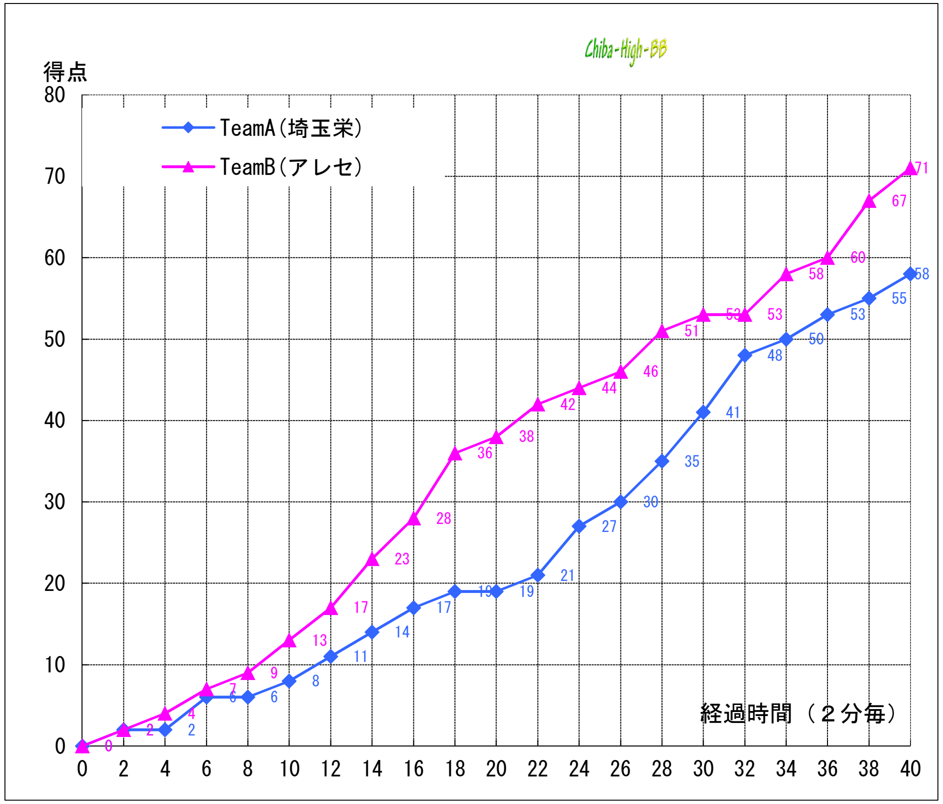
TeamA(埼玉栄)

No.	PT	選手名	得点	3ポイント 成	2ポイント 成	フリスロー 成	反則	リバウンド off	リバウンド def	リバウンド 計	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
0	◎	沖　咲月	17	2	4	3	3	1	0	1	2	0	2
1	◎	浜田　陽菜	9	0	3	3	1	6	4	10	3	0	6
2	◎	狩野　美里	12	0	5	2	0	2	6	8	1	0	2
3	◎	大家　未羽	12	2	3	0	1	1	2	3	3	0	1
4	–	内野　綾夏	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
5	○	東海林　萌菜	6	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0
6	–	丸山　莉央	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
7	–	相澤　ゆきの	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
8	◎	野尻　愛架	2	0	1	0	0	0	7	7	2	0	7
9	–	木下　愛里	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
10	–	高橋　こはく	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
11	–	會田　芽夢	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
12	○	宮城　姫七	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13	–	正野　夏月	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
14	○	CAMARA ASSETOU	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	2
Team / Coach:							–	1	4	5			2
合計			58	5	17	9	6	12	25	37	12	0	22

TeamB(アレセ)

No.	PT	選手名	得点	3ポイント 成	2ポイント 成	フリスロー 成	反則	リバウンド off	リバウンド def	リバウンド 計	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
3	◎	田川 玲実	4	0	1	2	1	0	0	0	3	0	2
8	◎	熊谷 萌那	29	5	7	0	2	2	1	3	1	0	1
12	○	冨田 真桜	0	0	0	0	4	1	0	1	–	0	3
14	◎	加藤 優花	7	1	2	0	4	2	1	3	2	0	2
15	◎	古木 梨子	17	3	4	0	2	3	5	8	7	0	0
25	◎	高杉 真央	14	0	7	0	4	4	2	6	5	0	6
72	–	植村 奈都子	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
0	–		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Team / Coach:							0	0	4	4			3
合計			71	9	21	2	17	12	13	25	18	0	14

SS　県立長生高等学校・県立大多喜高等学校



タイムアウト

	前半(1・2ピリオド)		後半(3・4)ピリオド		延１	延２	延３	延４
TeamA	19:30		38:23					
TeamB	18:13	19:30	36:16	38:00				

【戦評】

共に準決勝を接戦で勝ち上がってきた埼玉１位、埼玉栄と神奈川１位、アレセイアの決勝戦。埼玉栄はマンツーマン、アレセイアは２－２－１ゾーンプレスで試合開始。埼玉栄が連戦の疲れからか足が動かないのに対し、アレセイアはエンジン全開。運動量豊富なゾーンプレスでリズムを掴んでいく。＃１５の３Ｐで締めくくり、アレセイア６点リードで第１Ｐを終える。第２Ｐも流れは変わらず。アレセイアの次々とボールが動く華麗なパス回しが埼玉栄を翻弄。１９対３８と一気に点差が広がり前半終了。アレセイア１９点リードで後半へ。

第３Ｐ、追いつきたい埼玉栄は積極的にダブルチームを仕掛け、ディフェンスから反撃の糸口を見いだそうとする。これが功を奏し、足が動き出した埼玉栄がインサイドを中心に加点し徐々に点差を詰めていく。対するアレセイアは＃１５と＃２５がゲームをコントロールし、オープンになっている＃８のシュートで加点。４１対５３。アレセイアがリードして最終Ｐへ。優勝を懸けた運命の第４Ｐ。アレセイアのディフェンスに対応し始めた埼玉栄が一気に点差を詰めその差は一時３点に。しかしアレセイアは慌てることなく＃２５と＃８が決め返し点差を再び二桁に戻して勝負あり。５８対７１。７人で最後まで運動量が落ちなかったアレセイアが平成最後の関東大会で女王に上り詰めた。

審判	渡邊　整　／　川満　有紀　／　渡部　伸一

記入者	藤橋　洋輔